

HITACHI

日立ハイテック

身近に置いて、気軽に使える
卓上顕微鏡が迅速な観察を可能にします。

特長

- 卓上サイズで省エネ*1設計
- 絶縁物試料の無蒸着観察が可能
- デジカメ感覚*2で使えるシンプルな操作
- 焦点深度の深い*3立体的な形態観察と組成観察を実現
- ワンモニターで形態観察と元素分析*4が可能



上写真はTM-1000+EDXキット (TM-1000専用オプション)+ SwiftED-TM (TM-1000専用オプション) の組み合わせ例です。



モニターに表示されている画像の試料は、ヤマモの断面です。

日立卓上顕微鏡 TM-1000

Miniscope®

www.hitachi-hitec.com/em/miniscope/

*1 当社従来機比較80%
*2 本装置の操作画面はデジタルカメラの操作パネルをイメージしています。
*3 一般的な光学顕微鏡との比較
*4 オプションでTM-1000専用EDXキットとTM-1000専用SwiftED-TMを組み合わせて行うことができます。
Miniscope®は、(株)日立ハイテクノロジーズの日本登録商標です。

最先端を、最前線へ。

 株式会社日立ハイテクノロジーズ

本社 〒105-8717 東京都港区西新橋一丁目24番14号 電話 ダイヤルイン (03) 3504-6111
インターネットでも製品紹介しております。以下のURLへアクセスしてください。
URL <http://www.hitachi-hitec.com/em/>

新刊

Encyclopedia, Genera of Freshwater Algae

淡水藻類

淡水産藻類属総覧

山岸 高旺 著 B5 判上製・総頁 1444 頁・定価 52,500 円 (本体 50,000 円)

本書は淡水における藻類、約 1500 属を収録した淡水藻類の属の総覧である。配列は淡水藻類を 12 分類群に分ける Bourrelly の分類系を採った。これに加え異名とされるもの、関連するものをさらに約 800 属所収する。60 年に及ぶ著者の淡水藻研究の集大成として、淡水藻類の全体像に迫る大著である。

本文は、それぞれの分類群の「細胞・藻体」「生殖・生活史」「分類・分類表」を示した後、それぞれの属の記載が中心となり、線画による基本的な図版を示しながら、属の分類基準とされる形態形質、生殖形質、生育状況を述べる。また類似属との関係や産状など特記事項も詳細に記す。学名総索引をはじめ、和文、欧文の事項索引、また属名のカナ読み索引を付した。

はじめに／凡例／淡水藻類 序 (01) 藍藻類 Cyanophyceae (01 付) 灰青藻類 Glaucophyceae (02) 紅藻類 Rhodophyceae (03) 黄色鞭毛藻類 Chrysophyceae (04) 黄緑色藻類 Xanthophyceae (05) 珪藻類 Bacillariophyceae (06) 褐色鞭毛藻類 Cryptophyceae (07) 渦鞭毛藻類 Dinophyceae (08) 緑色鞭毛藻類 Chloromonadophyceae (09) 褐藻類 Phaeophyceae (10) 緑虫藻類 Euglenophyceae (11) 緑藻類 Chlorophyceae (12) 車軸藻類 Charophyceae 学名総索引／属名カナ読み索引／和文事項索引／欧文事項索引

小林 弘 珪藻図鑑

H.Kobayasi's Atlas of Japanese Diatoms based on electron microscopy

小林 弘 出井雅彦・真山茂樹 著 B5 判上製・総頁 596 頁・定価 35,700 円
南雲 保・長田敬五

本書は、珪藻の分類学の成書として長く刊行が待たれていた待望の書であり、斯界の第一人者、故小林弘博士の名を冠するものである。プレートとその解説をはじめとし、特殊な用語が多く使われる珪藻の殻構造の解説を電顕写真や線画を添えて分かりやすく示した。分類体系には最新の研究成果を盛り込む。用語の英語、日本語、ラテン語の一覧表や、学名と和名の対照表などを付し読者の便宜を図った。

【内容主目】凡例／新分類群・新組み合わせ・新用語／収録分類群一覧／珪藻の殻構造と用語／珪藻用語対照表／珪藻分類体系／和文解説／欧文解説と図版／属の学名 - 和名対照表／引用文献／学名索引

淡水珪藻生態図鑑

群集解析に基づく汚濁指数 DA_{lpo}, pH 耐性能

渡辺 仁治 編著 浅井一視・大塚泰介 著 B5 判上製・総頁 784 頁・定価 34,650 円
辻 彰洋・伯耆晶子

日本のみならず世界各地から約 1500 のサンプルを採集、膨大なサンプルの生態情報を処理検討し、約 1000 種の珪藻についてその結果を分かり易くまとめる。生態情報の妥当性を期するため、すべてのサンプルを統一条件下で採集し、好清水か好汚濁か=きれいな水を好むのか、汚れた水を好むのか等を判断する環境指標としての珪藻群集の適性を、多くの図版で具体的に示す。

総論 珪藻研究の歴史／環境指標としての珪藻群集／湖沼、河川共通の水質汚濁指数 DA_{lpo}／珪藻の生活様式／試料の採集／試料の処理と検鏡／形態 (種の同定に関わる特性要素) 写真編 I 中心目 (Centrales) の分類 II 羽状目 (Pennales) の分類 II A 無縦溝亜目 (Araphidineae) の分類 II A ディアトマ科 (Diatomaceae) II B 有縦溝亜目 (Raphidineae) の分類 II B₁ ユーノチア科 (Eunotiaceae) II B₂ アクナンテス科 (Achnantheaceae) II B₃ ナビクラ科 (Naviculaceae) II B₄ エピテミア科 (Ephithemiaceae) II B₄ ニチア科 (Nitzschiaceae) II B₅ スリレラ科 (Surirellaceae) 学名総索引 事項索引

表示の価格は税込定価 (本体価格 + 5%) です。

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-34-3 内田老鶴園
TEL.03-3945-6781 FAX.03-3945-6782

お知らせ

2009年1月1日より、編集部が下記へ移ります。
今後、和文誌の藻類へのご投稿は、こちらへお願い致します。

日本藻類学会

新送付先：〒890-0056
鹿児島市下荒田4丁目50-20
鹿児島大学水産学部
寺田竜太 和文誌編集委員長

Tel 099-286-4131, Fax 099-286-4133
E-mail terada@fish.kagoshima-u.ac.jp

海産微細藻類用培地

<特徴>

- ✓ 多彩な微細藻類に使用できる。
- ✓ 手軽に使用できるので、時間と労力の節約。
- ✓ 安定した性能。
- ✓ 高い増殖。
- ✓ 精製水に溶かすだけで、手軽に使用できる。

IMK

培地は、多種多様な微細藻類に使用可能な培地です。人工海水 SP は、海水の成分が自然に近い形で混合されており、精製水に溶かすだけで使用できます。

ダイゴ IMK 培地

100 L 用×10 398-01333
1000 L 用×1 392-01331

微細藻類に共通して使える培地です。
生育に必要な成分が含まれています。

ダイゴ人工海水 SP

1 L 用×10 395-01343

海水 SP の成分が自然に近い形で混合されています。

お客様のご要望に応じた培地も特注でお受け致します。

製造 日本製薬株式会社 ライフテック部
大阪府泉佐野市住吉町2-6番
〒598-8558 TEL 072-469-4622

販売 和光純薬工業株式会社
大阪市中央区道修町三丁目1番2号
〒541-0045 TEL 06-6203-3741
東京都中央区日本橋四丁目5番13号
〒103-0023 TEL 03-3270-8571

URL <http://www.nihon-pharm.co.jp/lifetech/>

下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので、学会事務局（庶務）までお申し込み下さい（価格は送料を含む）。

1. 「藻類」バックナンバー

各号、会員価格 1,750 円、非会員価格 3,000 円；30 巻 4 号（創立 30 周年記念増大号，1-30 巻索引付き）のみ会員価格 5,000 円，非会員価格 7,000 円；欠号 1-2 巻全号，4 巻 1，3 号，5 巻 1，2 号，6-9 巻全号。

2. 「藻類」索引

1-10 巻，会員価格 1,500 円，非会員価格 2,000 円；11-20 巻，会員価格 2,000 円，非会員価格 3,000 円；1-30 巻（創立 30 周年記念），会員価格 3,000 円，非会員価格 4,000 円。

3. 山田幸男先生追悼号

藻類 25 巻増補，1977，A5 判，xxviii + 418 頁。山田先生の遺影，経歴，業績一覧，追悼及び国内外の藻類学者より寄稿された論文 50 篇（英文 26 篇，和文 24 篇）を掲載。価格 7,000 円。

4. 日米科学セミナー記録

Contributions to the systematics of benthic marine algae of the North Pacific. I. A. Abbott・黒木宗尚共編，1972，B5 判，xiv + 280 頁，6 図版。昭和 46 年 8 月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で，20 篇の研究報告（英文）を掲載。価格 4,000 円。

5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究

1977，B5 判，65 頁。昭和 49 年 9 月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4 論文と討論の要旨。価格 1,000 円。

6. Proceedings of Algae 2002

藻類 52 巻特別号，2004，A4 変形判，253 頁。平成 14 年 7 月につくば市で開催された第 26 回日本藻類学会大会・日本藻類学会 50 周年記念行事・第 3 回アジア太平洋藻類学フォーラム合同会議（Algae 2002）のプロシーディング集。43 篇の論文・レビューを掲載。価格 3,500 円（送料込み）。

藻類

第 56 巻第 3 号

2008 年 11 月 5 日印刷

2008 年 11 月 10 日発行

© 2008 Japanese Society of Phycology

日 本 藻 類 学 会

禁 転 載
不 許 複 製

編集兼発行者

北山太樹

〒 305-0005 つくば市天久保 4-1-1

国立科学博物館植物研究部

Tel 029-853-8975

Fax 029-853-8401

E-mail kitayama@kahaku.go.jp

印 刷 所

株式会社イセブ

〒 305-0005 つくば市天久保 2-11-20

Tel 029-851-2515

Fax 029-852-8501

発 行 所

日本藻類学会

〒 657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

神戸大学内海域環境教育研究センター

Tel & Fax 078-803-5781

藻類



The Japanese Journal of Phycology (Sôruï)

第56巻 第3号 2008年11月10日

目次

日本藻類学会第33回大会のお知らせ—沖縄・2009—

藻のグラフィックアート 日本のカヤモノリ科(解説:小亀一弘)

霜村胤日人・長谷川雅俊 磯焼け域と群落域におけるカジメの生長と光・水温条件との関係 169

吉田吾郎・荒武久道・寺脇利信 室内培養下の褐藻マメタワラの成長・成熟特性 179

総説

岡崎恵視:藻類の炭酸カルシウム形成—その機構と大気CO₂循環への貢献— 185

藻場の景観模式図

寺脇利信・新井章吾:28. 富山湾西部・蛇が島地先 206

藻類学最前線

神川龍馬:シアノファージの多様な感染戦略 209

山口晴代・石田健一郎:つくば藻類・プロテリスト研究フォーラム 212

藻類採集地案内

横澤敏和:江ノ島(神奈川県藤沢市) 213

吉崎 誠:千葉県銚子半島 217

博物館と藻類

北山太樹:日本産海藻類エキシカータ—国立科学博物館の場合— 225

細山田三郎:タケコケモドキ類末記 228

金井弘夫:イワヅタ問題に寄せて 231

新村 巖:「モヅク」と「モヅク」について 232

北山太樹:海藻の和名における仮名遣いの問題 233

鈴木雅大:FICO2008参加記 238

加藤亜記:Algae 2002 エクスカーション参加記 239

英文誌(Phycological Research) 56巻1・2号掲載論文和文要旨 240

書評・新刊紹介

小池一彦:芸南の海藻(今村賢太郎) 245

編集部:潮間帯と海藻(久場安次) 245

会員のページ

木村光子:民俗藻類学の旅再訪編—十六島, 島持ち・島子に話を聞く— 246

石樋由香:海藻押し葉ラミネート作りコーナー(養殖研究所) 246

学会録事 247

学会・シンポジウム情報 247

会員異動・入会案内 他 248

コラム [遊藻子] 編集部:標本のために海藻を展示する 227

[遊藻子] 鈴木雅大:ホームページ「海藻海草標本図鑑」 244

[遊藻子] 編集部:イワヅタの切手 248